

京都労研

No. 3

連絡先
京都市北區小山
中瀬町14の7
中村太郎

(一九七〇年四月二二発行)

連続講座、オ二回を南く

「団結の中身が焦点に」

四月十九日、オ二回連続講座は「組紐労働者の現況」と題して、参加者全員による報告と討論を行った。報告の中からは

- 一、分裂組合におけるオ一、オ二組合の体質はかわりがないのではないか。
- 二、日共の制圧下における少数派の活動は……
- 三、思想信条をのりこえた団結はありえるのか
- 四、企業のワウ内で企業をのりこえようとしているのではないか
- 五、組合の統一は分裂過程を通じなければありえないのではないか

六、組合員の活動は組合の活動の中で圧殺されているのではないか

七、学生運動を自己の向題としてくみこまずに切りすぎる指導者の向題は、同時に反帝労組にも向われるのではないか

八、従業員と組合員は全くことなるものではないか、

九、暴力の向題を根本的に検討する必要がある。

などなどの向題が出され、討論を行いました。内容については詳細にわたって別にあしらせします。

次回、「戦後労働運動史」

南会時刻を次回に限り変更します。

南会、午後六時 九時

必理由、「安保、沖繩斗争勝利、自衛隊解体、四、

二六全関西総決起集会とデモが一時より大阪大寺前公園で行われる。できるだけ参加できるように

P R 断固、政治斗争を貫徹する人のために、4、
 28、沖縄斗争、東京明治公園参加のための沢尻のキッ
 ンがあります。往復三〇〇〇円。出発27日、午後
 六時、帰着29日、早朝、(バク、ウ、ハ、ハ)はうく帰れ
 ません)

労研ニエ文、オ一号(藤田を囲んだ懇談)、オ二号
 (同封のもの)、オ四号(オ三四講座の報告)、各号と
 も宛費50円をおわけします。必要部数をお知らせ下
 さい。

お礼 上京のSさんより、切手50枚のカンパ、現在
 一番必要なものです。感謝。

紹介 文芸春秋、五月号、堀井利勝と滝田実の対談が
 ゆたい。滝田の方がスツキリしている。向きが反動
 だが

訂正 労研ニエ文オ2号
 3P、上段右1行目 労働者↓労働者
 4P、上段右2行目 宝木 ↓宝樹

5P 下段右6行目 中島三洋↓中島参与
 6P 下段右8行目 新産別労使↓老利労使
 7P 下段右13行目 中山市部↓中山何部
 8P 上段右8行目 焼出↓噴出
 15P 上段右8行目 産業別が... ↓生産性...を上げ
 産業別が

